

学校名

指導教諭

授業者

日時：平成30年6月14日（木）第1校時

対象：第1学年 (40人)

場所： 教室

1. 科目 コミュニケーション英語 I

単元名 Lesson 5 Alex's Lemonade Stand

使用教材 大修館書店 “Genius English Communication I”

2. 単元の目標

- (1) 本単元では、小児ガンを患った Alex が、同じくガンに苦しむ世界中の子供たちを救うために始めたレモネードスタンドの物語に触れることによって、辛いことがあっても前向きに生きることの素晴らしさを学ぶ。また、Alex が始めたレモネードスタンドが世界中に広まったこと、Alex や彼女に影響を受けた人々のボランティア精神を知ること、小さな力も集まれば大きな力になることを学ぶ。
- (2) 原形不定詞（知覚動詞+O+原形動詞、使役動詞+O+原形動詞）、SVO+if節/wh-節、Itの用法（形式目的語）について意味と用法を理解する。
- (3) ワークブックや音読活動を通して、各段落の重要な情報とパート全体の主旨を理解する。
- (4) 英語での要約や発問を理解することができ、それに対して英語での返答を試みることができる。

3. クラス観

本学級の生徒たちは全体的に明るく、活気のあるクラスである。音読活動時の声も大きい。特に問題意識を高く持っており、文構造などで分からないところがあれば自ら積極的に質問する姿が見られる。教師が生徒を当てなくとも、自然に答えが飛んでくるような光景がよく見られる。しかし、教師の英語での発問を正確に理解し、それに対して英語で答えることにまだ慣れていないように思われる。

4. 授業観について

(1) 教材観

本単元では、小児ガンを患った少女 Alex の闘病生活、同じようにガンで苦しむ子供たちを救うために彼女がレモネードスタンドを始めたこと、その行動が世界中の人々に影響を与え、全国規模でボランティア活動が行われるようになったことなどが語られている。逆境の中でも勇敢に立ち向かった Alex の話を通して、前向きに生きることの大切さや支援を必要とする人々を助けようとするボランティア精神の大切さを訴えかける内容となっている。

新出文法項目として、原形不定詞（知覚動詞+O+原形動詞、使役動詞+O+原形動詞）、SVO+if節/wh-節、Itの用法（形式目的語）が扱われている。チャンクごとに文頭から意味をとってゆく練習に適した教材である。

(2) 指導観

本単元では下記のこと留意して指導する。

- ・予習段階において自力で調べながら本文を理解させ、ワークブックを解かせることによって、自分が理解できないことを事前に明確にする習慣を身につけさせる。
- ・導入部分での Oral Introduction を通して、スキーマの活性化と本レッスンおよび各パートに入る準備をさせる。
- ・新出語句の確認や文構造の解説などにより本文を詳しく理解した後に、本文の音読を取り入れることによって、学んだことを自分で整理しながら振り返る機会を持たせる。
- ・本文に関わる発問を英語で行い、生徒に英語で答えさせることで、内容理解力・思考力を養うとともに、英語運用能力向上を目指す。
- ・音読活動を通して、チャンクごとに前から意味を理解する力をつけさせ、節や句の切れ目を理解させる共に、各パートの内容を再確認させる。

5. 評価の基準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
<ul style="list-style-type: none">・理解している内容や自分の意見を、簡潔に相手に伝えることができる。・互いに協力しながら活動に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none">・内容理解をした上で、発問に対して英語で答えを述べようとしている。	<ul style="list-style-type: none">・新出語句を読んで理解することができる。・本文を読んで、または聞いて内容を理解し、概要や要点を捉えることができる。	<ul style="list-style-type: none">・本文を通して、Alex の人生や Lemonade Days について理解している。・新出語句・文法を知り、それらが本文に出てきた際に理解することができる。

6. 指導計画 (総時間 4 時間)

	単元	学習内容
第一時	Introduction、Part 1	本課への導入、新出語句の導入 文構造の解説、ワークブックを通した内容理解
第二時	Part 2	Part 2 への導入、新出語句の導入、文構造の解説、 ワークブックを通した内容理解、活動
第三時	Part 3	Part 3 への導入、新出語句の導入、文構造の解説、 ワークブックを通した内容理解、活動
第四時(本時)	Part 4	Part 4 への導入、新出語句の導入、文構造の解説、 ワークブックを通した内容理解、活動

7. 本時の展開

段階	学習活動	教師の動き	生徒の動き	目的/ 指導上の留意点
導入 7分	<p>1. 挨拶</p> <p>2. 前回の復習</p> <p>3. Oral Introduction</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・英語で挨拶をする。 ・Part 3 日本語訳プリントを出すように指示。 ・CD に続いて Part 3 本文の overlapping を行う。 ・Part 4 についての Oral Introduction を行う。 ・生徒の考えを尋ねるような質問をする。 Q1: How do they(lemons/ lemonade) taste? Q2: Which image do you have about lemons/ lemonade, a negative image or positive image? 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語で挨拶をする。 ・Part 3 日本語訳プリントを出す。 ・CD に続いて Part 3 本文の overlapping を行う。 ・Part 4 の予備知識を蓄える。 ・教師の質問に答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語で話す雰囲気作り。 ・Part 4 に関する予備知識を与え、スキーマの活性化を図る。
展開 8分	4. Part 4 新出語句の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークブックプリントを出すよう指示。 ・CD に続いて新出語句を発音するように指示。 ・生徒を当てながら意味を確認。必要に応じて追加情報を提示する。 ➤形:success→動:succeed ➤形:courageous→名:courage ➤establish=found ➤動:express→名:expression 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークブックプリントを机の上に出す。 ・新出語句の意味を確認する。追加情報をプリントに書き込む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい発音に慣れる。 ・発音・イントネーションに気をつけて読めているか確認。 ・追加情報を与えることで知識の蓄積を図る。
7分	5. 本文解説	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントを配る。 ・重要な文法表現、分かりにくい文を取り上げ、口頭または板書しながら解説。 ・生徒に本文のより深い理解を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・解説を聞いてプリントに書き込みながら、文構造の理解に努める。 	

		<p>・本文内容、文法事項について適宜生徒に質問する。 取り上げる箇所↓ >She believed it important to raise money for research into childhood cancer. (believe A:B:AをBだと信じる、仮目的語) >if such a thing would be impossible(such a 名詞:そのような名詞、if S V:SVかどうか) >With \$300,000 raised, ... (with O 過去分詞:Oが～されて)</p>	<p>・教師の質問に答える。</p>	
4分	6. 本文音読	<p>・Part 4の内容を再確認しながら読むように指示。 ・CDに続いてSlash Reading</p>	<p>・本文を理解しているか確認しながらCDの音声に続いてSlash Reading</p>	
4分	7. 内容理解	<p>・本文の内容に関わる発問をし、生徒を当てて答えさせる。 Q1: What did Alex do on June 12, 2004? A1: She set up her fifth annual lemonade stand. Q2: Where did lemonade stands open on the same day? A2: They opened in all fifty states, Canada and France. Q3: How much did they raise on that day? A3: \$300,000 was raised. Q4: Was her dream of raising \$ 1 million realized? A4: Yes, it was.</p>	<p>・教師の質問に答える。 ・本文の内容を理解する。</p>	<p>・本文の内容を理解しているか確認。</p>

10分	8. ワークブックを使った内容理解	・ワークブックの答えを生徒を当てながら確認する。	・ワークブックの答えを確認する。	・予習ができているか、本文の内容を理解しているかを確認。
まとめ 10分	9. 合いの手音読 10. 終了の挨拶	・合いの手音読プリントを出すように指示し、活動の説明を行う。 ・ペアになるよう指示。 ・机間巡視 ・生徒が間違えやすい発音を取り上げて確認。 ・英語で挨拶をする。	・合いの手音読プリントを出し、活動を理解する。 ・ペアを作る。 ・合いの手音読を行う。 ・間違えやすい発音を確認。	・開始前に、活動の目的を明確にする。 ・机間巡視を行うことで生徒を集中させると共に、生徒が間違えやすい発音がないか確認する。 ・5分で交代 ・音読を通して話の流れを掴むと共に、チャンクごとに前から意味を取る訓練を行う。

8. 準備物 ワークブックプリント、プリント(Part 4 の日本語訳、合いの手音読)、CD